

2023 年度 授業計画(シラバス)

学 科	看護学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義演習
科 目 名	精神症状のある患者への看護		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	2年次		学期及び曜時限	後期	教室名	各教室
担 当 教 員	和田 由佳 他	実務経験と その関連資格	大学で精神看護学助教として勤務。			
《授業科目における学習内容》						
精神科に特有な疾患から生じる精神症状の把握や看護について学び、精神科看護の対象となる人に適切な看護を提供するために、紙上事例を用いて看護過程の展開する能力を身に着ける。また、精神看護において看護師のコミュニケーションが重要であり、効果的な看護実践には欠かせないものである。病をもつ人々との治療的コミュニケーションの在り方を考え、精神看護の基礎的能力を養う。						
《成績評価の方法と基準》						
授業や演習への参加状況と受講後に課す課題提出状況(40%)、筆記試験(60%)で総合的に評価する。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
専門分野Ⅱ 精神看護の基礎 精神看護学① 医学書院 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護の展開 精神看護学② 医学書院 系統看護学講座 学生のための精神看護学 医学書院						
《授業外における学習方法》						
授業終了時に示す課題を実施しておくこと。授業で学習した内容の理解の促進と知識の定着のために主体的に国家試験の問題に取り組んでおくこと。						
《履修に当たっての留意点》						
精神看護の基礎を学ぶことは今後の看護の在り方に大きく深く関わります。興味を持って主体的に学んでください。自分たちは学生であり、学ぶ側であるという意識をもち、授業中の態度等に注意してください。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	疾患にあった看護師の関わりのポイントを説明できる	教科書 AV機器他	授業で学んだ内容を復習し、講義終了時に示す課題を実施すること	
		各コマにおける授業予定	精神状態の把握と看護(統合失調症) ① ※事例を配布第3回の講義までにデータベースを記載しておくこと			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	疾患にあった看護師の関わりのポイントを説明できる	教科書 AV機器他	授業で学んだ内容を復習し、講義終了時に示す課題を実施すること	
		各コマにおける授業予定	精神状態の把握と看護(統合失調症) ②			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	事例に対して【1. 健康知覚・健康管理、2. 栄養、3. 排泄】の看護アセスメントができる。	教科書 AV機器他	授業で学んだ内容を復習し、講義終了時に示す課題を実施すること	
		各コマにおける授業予定	精神障害にある人の看護過程の展開 看護アセスメントポイント①			
第4回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	事例に対して【4. 活動・運動、5. 睡眠・休息、6. 認知・知覚】の看護アセスメントができる。	教科書 AV機器他	授業で学んだ内容を復習し、講義終了時に示す課題を実施すること	
		各コマにおける授業予定	精神障害にある人の看護過程の展開 看護アセスメントポイント②			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	事例に対して【7. 自己知覚・自己概念、8. 役割・関係、9. 性・生殖】の看護アセスメントができる。	教科書 AV機器他	事例に対して看護のアセスメントをまとめ、所定の用紙に記述する	
		各コマにおける授業予定	精神障害にある人の看護過程の展開 看護アセスメントポイント③			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	事例に対して【10. ストレス耐性・コーピング、11. 価値・信念】の看護アセスメントができる。	教科書 AV機器他	事例に対して看護のアセスメントをまとめ、所定の用紙に記述する
	各コマにおける授業予定	精神障害にある人の看護過程の展開 看護アセスメントポイント④ ※第7回講義の時に事例のデータベース(青字で追記)とアセスメントシートを提出すること。			
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	症状の訴えが強い患者の背景や、妄想や幻覚によって何よりも患者自身が脅かされて困っていることを理解し、患者の安心や安全を提供できる看護実践について考えることができる。	教科書 AV機器他	事例に対して看護のアセスメントをまとめ、所定の用紙に記述する
	各コマにおける授業予定	シナリオ: 症状の訴えが強い(幻覚妄想)患者さんへのアプローチを学ぶ(夏目洋子さん) グループワークを行う。グループごとに発表を行う。			
第8回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	疾患にあった看護師の関わりのポイントを説明できる	教科書 AV機器他	事例に対して看護のアセスメントをまとめ、所定の用紙に記述する
	各コマにおける授業予定	精神状態の把握と看護(気分障害)□			
第9回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	躁状態で話が止まらない患者の背景や病態を理解し、看護を行う際の観察やかかわりについて考えることができる。	教科書 AV機器他	事例に対して看護のアセスメントをまとめ、所定の用紙に記述する
	各コマにおける授業予定	シナリオ: 多弁が続く患者の症状と看護アプローチを学ぶ(小坂晴美さん) グループワークを行う。グループごとに発表を行う。			
第10回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	疾患にあった看護師の関わりのポイントを説明できる	教科書 AV機器他	授業で学んだ内容を復習し、講義終了時に示す課題を実施すること
	各コマにおける授業予定	精神状態の把握と看護(強迫神経症)□			
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	疾患にあった看護師の関わりのポイントを説明できる	教科書 AV機器他	事例に対して看護のアセスメントをまとめ、ケアプランの立案をして所定の用紙に記述する
	各コマにおける授業予定	精神状態の把握と看護(ストレス関連障害・物質関連障害)			
第12回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	疾患にあった看護師の関わりのポイントを説明できる	教科書 AV機器他	授業で学んだ内容を復習しし、課題にとりくむこと。
	各コマにおける授業予定	精神状態の把握と看護(摂食障害)			
第13回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	模擬患者との関わりを行い、患者と関わる時の注意点について説明できる	教科書 AV機器他	授業で学んだ内容を復習しし、課題にとりくむこと。
	各コマにおける授業予定	看護の実践(ロールプレイ)【バイタルサイン測定を行い、入浴を促す場面】(金山先生に模擬患者を依頼) グループごとにロールプレイ内容をプロセスレコードに記載し、振り返りを行う。振り返り内容をグループごとに発表。教員より総評を行う。			
第14回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	疾患にあった看護師の関わりのポイントを説明できる	教科書 AV機器他	授業で学んだ内容を復習しし、課題にとりくむこと。
	各コマにおける授業予定	精神状態の把握と看護(境界性パーソナリティ障害)			
第15回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	疾患にあった看護師の関わりのポイントを説明できる	教科書 AV機器他	授業で学んだ内容を復習しし、課題にとりくむこと。
	各コマにおける授業予定	精神状態の把握と看護(小児期の発達障害)			